安城市のお財布公表します！

問▶財政課（☎〈71〉2275）

令和７年度は、第９次総合計画に掲げた、子どもを育む「しくみ」「ちから」「ばしょ」という３つの重点戦略に関連した施策を進めつつ、持続可能な行財政運営に取り組みました。さらに、水道基本料金の無償化や安城デジタルクーポン発行事業等により、物価高騰に直面する市民生活の支援を行いました。

※令和８年度上半期の予算の執行状況は市HP参照。

令和７年度決算 | 子どもを育む施策とともに物価高騰対策を実施しつつ、健全財政を維持

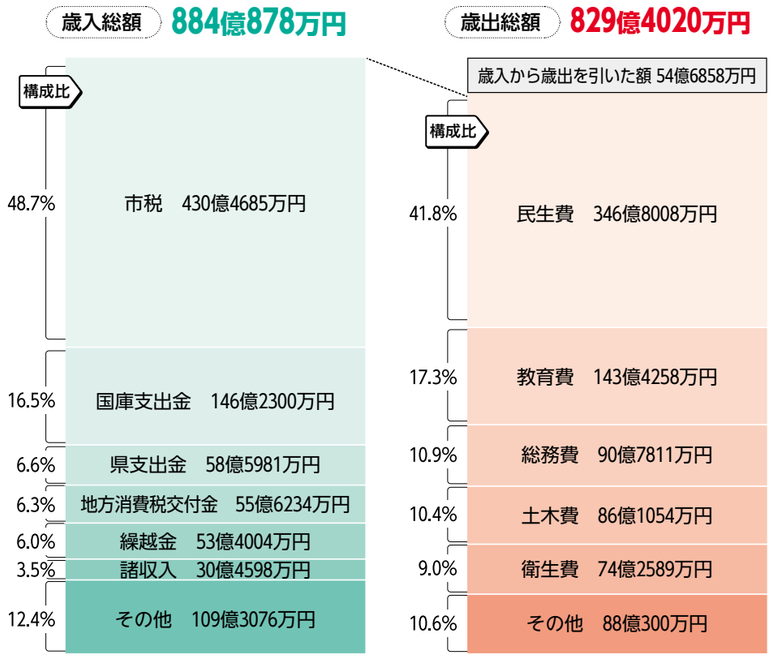
一般会計

収支は54億円の黒字になりました

市の支出を市民一人あたりに換算すると…

科目	金額
民生費	18万5205
教育費	７万6595
総務費	４万8481
土木費	４万5984
衛生費	３万9657
その他	４万7012

※単位は円。
※令和８年３月31日時点の人口18万7252人で算出。



特別会計

※単位は円。

会計名（事業）	歳入	歳出
国民健康保険	143億8603万	138億2840万
土地取得	920万	870万
有料駐車場	３億6998万	１億5772万
介護保険	116億9504万	116億996万
後期高齢者医療	33億5357万	33億4073万

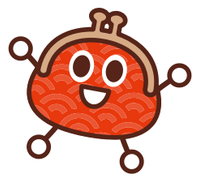
公営企業会計

※単位は円。

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業	34億9137万	30億4583万	４億4296万	16億5824万
下水道事業	32億8226万	31億8884万	14億8679万	27億1116万

資産（公有財産）

土地	269万347㎡
建物（延べ面積）	55万3527㎡
有価証券	3270万円



一般会計
福祉や教育、道路整備等、行政の基本的な事業を行うための会計

特別会計
保険料や使用料等、事業内の独自の収入で運営している会計

公営企業会計
地方公共団体が経営する企業の会計

令和７年度に取り組んだ主な事業

第９次総合計画「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」の３つの重点戦略の「しくみ」「ちから」「ばしょ」に分けて、主な事業を紹介します。

しくみ

小中学校給食費無償化事業【９億2499万円】

小中学校児童生徒の給食費無償化等を実施しました。



こども政策推進事業【2371万円】

高校生等へのライフデザインセミナーや婚活イベントを開催するとともに、結婚等に伴う新生活に係る費用を支援しました。



［その他］
- 低年齢児保育充実事業【854万円】
- 中学校屋内運動場空調設備設置事業【10億9751万円】

ちから

屋外体育施設管理事業【10億9659万円】

アジア競技大会に向け、ソフトボール場や総合運動公園の園路等を改修しました。



丈山苑施設改修事業【6578万円】

開苑30年を迎えるにあたり、苑内の施設及び設備のリニューアルを行いました。



［その他］
- 三河安城交流拠点推進事業【１億4289万円】
- デジタル人材育成推進事業（eフェスNEXT）【500万円】

ばしょ

防災設備整備事業【2680万円】

液体ミルクや子ども用便座等、妊産婦や乳幼児等の避難生活に必要な備蓄物資の充実を図りました。



［その他］
- 都市拠点（JR安城駅周辺）整備促進事業【5577万円】
- 名鉄西尾線仮設踏切道整備事業【8805万円】
- カーボンニュートラル推進事業【7060万円】

市の借金と貯金残高

※単位は円。

	会計	金額	前年度比
市債残高（市の借金）	一般会計	126億430万	－６億8352万
	企業会計	139億6178万	－１億8495万
基金残高（市の貯金）	一般会計	337億333万	－８億5049万
	特別会計	27億2241万	－7268万

財政力指数
1.29
行政サービスにかかる費用を市税等で賄える割合（指数が１を超えるほど自主財源の割合が高い）
※県内市町村平均0.98

経常収支比率
87.8%
市税等の収入に対する経常的な行政コストの割合（比率が高いほど自由に使えるお金が少ない）
※県内市町村平均94.2%